

今回の Featured Product

患者さんの QOL 向上と院内ワークフローの効率化を実現するベッドサイドテーブル

GCX 昇降機能付ベッドサイドテーブルはモニタを患者さんの見やすい位置にスムーズに移動できるディスプレイアームや現場のニーズに合わせた様々なアクセサリを搭載でき、ベッドで長時間過ごす患者さんや動きが不自由な患者さんのストレスを少しでも軽減していただけるように機能設計されています。

患者さんの周囲の設備機器を安全かつコンパクトにまとめられる他、継ぎ目が少なく清浄化しやすいテーブルやケーブル類を収納できる支柱構造は、医療従事者の方々が患者さんのケアをしやすい環境を提供します。



ディスプレイアーム付ベッドサイドテーブル
Patient Engagement Table

長野県立こども病院での使用事例

長野県安曇野市に位置する県立こども病院は “ 未来を担うこども達のために、質が高く安全な医療を ” という理念のもと、昨年度より小児集中治療室（PICU）の増床工事も進んでいる長野県のみならず近隣県の小児患者の集まる地域の中核病院です。今回、この製品を使用した三次医療施設の要である重症診療を受け持つ小児集中治療科 黒坂了正先生にご意見をお聞きました。



小児集中治療科
黒坂 了正 先生

【製品使用のきっかけ】

当病棟にはテレビやビデオの機能が備わった床頭台がない上にベッドサイドテーブルもありませんでした。そのため、食事の摂取や動画の視聴の際にはベッドの脇に設置したワゴンに食事トレーやポータブルプレーヤーを置いていました。患者様には柵越しからの食事摂取になるため介助が必要になり、柵越しの視聴では見えづらいために啼泣して調子を崩すことがありました。その一方で、病棟内の備品置き場が狭いため、ベッドサイドテーブルとモニター台の両方を設置するのは困難でした。GCX の "Patient Engagement Table" は、両方の機能を兼ね備えている上にデザイン性にも優れており興味を持ちました。



従来の動画視聴の様子



GCX製品を使用した動画視聴の様子